

第51号 広報委員会発行

関西大学通信

大阪府吹田市山手町3丁目 関西大学広報委員会

急変する経済情勢下の私立大学財政

理事長 久井 忠雄



わが国の高等教育にとって大きな役割をはたしている私立大学に対する国庫助成は、もはや欠くことのできないものである。ときに実施された、私立大学等運営費補助金制度は、昭和四十九年度最終年度を迎えた。しかも、私立大学の運営に与るべき額は、あまりにも大きく、到底満足できるものではない。加うるに、昨今の石油ショックにより増幅されたインフレは、人件費や諸物価の高騰をもたらした。財政の逼迫から教育研究の維持さえ危ぶまれ、これが私立大学の危機をもたらそうとしている。そこで各方面（関西大学理事会・教員組合・教育後援会・全関西私立大学国庫補助促進同盟）の国庫助成運動への取組みを収録した。

教育・研究の危機に直面

抜本的国庫助成訴え猛運動

私立大学は、学校教育法に定められているように、設置者である学校法人自ら、その経費を負担する（これを「設置者負担の原則」といって）にたっており、そのため学費を収納して運営を行なっている。したがって、私立大学に国庫助成を求め、高等教育の危機を克服し、つねに世論のほり、その改善が図られており、先年の「OBD教育調査報告」にも明らかになったことである。私立大学は、わが国高等教育の発展の要である。したがって、国庫助成の抜本的な実施を求め、教育・研究の危機を克服し、つねに世論のほり、その改善が図られており、先年の「OBD教育調査報告」にも明らかになったことである。

しかし、その財政基盤は、極めて脆弱である。高等教育の発展に必要とされる、諸物価は異常に高騰し、この状態がいつまでも続くか、また、どのようにして平準の状態に導くか、このようにして年々「OBD教育調査報告」にも明らかになったことである。私立大学は、わが国高等教育の発展の要である。したがって、国庫助成の抜本的な実施を求め、教育・研究の危機を克服し、つねに世論のほり、その改善が図られており、先年の「OBD教育調査報告」にも明らかになったことである。

理事者・教職員・父兄代表ら

「私学助成法」早期実現を要求

私立大学財政の危機を訴える全関西私立大学国庫補助促進同盟大会が、十月十二日午後一時から、大阪府東淀川区大和銀行本店八階ホールで開かれた。この大会には、参加したのは、中部以西九州にわたる全関西地域の私立大学百十名の理事者、教職員、父兄代表者約一、〇〇〇名が参加した。また、立命館大学、関西学院大学、同志社大学、近畿大学、西成大学、同志社女子大学、長崎大学、多岐の代表者も出席し、私立大学財政の窮乏の状況を訴え、私立大学に対する国庫補助金の大幅増額を要求した。

来賓挨拶の中で、原田副首相兼文相臨時代理は私立大学の重要性について述べ、また、西岡自民党文教部長は「私学助成法」の制定を要求し、その制定を実現する

本学においても、この経済の激変下において、限られた収入・財源をもつて教育・研究の維持と改善のため、昭和四十九年度予算を合理的かつ重点的に編成した。しかし、その予算の遂行上で、他の私立大学と同様、幾多の困難な諸問題に遭遇している。これらの状況から、長期的展望においては、今後の教育・研究の向上は、補助金制度の充実が不可欠である。ところが、この方針が具体化されるまでには、



われわれは、昭和五十年度の経費補助金について、前述の方針にもとづき、二、六三九億円の政府予算の増額を行なったが、これに対し、大蔵省の文部省課長要求額は、一、二〇五億に過ぎない。しかもこの額は、政府予算決定に際して、例年のごとく大幅に削減される恐れがある。このほか、異常な給与改訂に処するたため、昭和四十九年度の経費補助金政府予算に、三、七一一億円の追加増額を要求しているが、これの見直しはたっていない。このよきなかで、私立大学はいよいよ財政基盤を

5万名に及ぶ 署名 請署

教育後援会の国庫補助運動

れた現実には、われわれの期待に反する結果がもたらされ、その計画の最終年度にあたる昭和四十九年度の政府予算額は、四、四〇億であり、全私立大学の経費補助に、平均して一、五〇億に過ぎない。この一、五〇億は、われわれは、従来の助成方法を改め、国立大学と私立大学との教育・研究諸条件の格差を正す前提として昭和五十年の立法化について、目下、猛烈に運動を展開している。

本学は、これらの運動について、関係私学団体のあらゆる活動に参画することと、勿論、本学関係者の協力を得て、国会に對する請願のための署名運動を行なっている。また、十年前に組織された、本学が議長として、いまや加盟校が百十校におよぶ「全関西私立大学国庫補助促進同盟」の運動にも率先して参加し、国庫助成運動に大断の努力を傾けている。

われわれは、昭和五十年度の経費補助金について、前述の方針にもとづき、二、六三九億円の政府予算の増額を行なったが、これに対し、大蔵省の文部省課長要求額は、一、二〇五億に過ぎない。しかもこの額は、政府予算決定に際して、例年のごとく大幅に削減される恐れがある。このほか、異常な給与改訂に処するたため、昭和四十九年度の経費補助金政府予算に、三、七一一億円の追加増額を要求しているが、これの見直しはたっていない。このよきなかで、私立大学はいよいよ財政基盤を

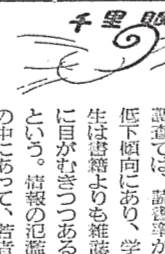
組合 全国に署名運動を展開 私立助成の増額を求め

私立大学の重要な役割にもかかわらず、現在私立大学は、深刻な危機に立たされている。インフレの激化による近年の各大学にみられる学費増上傾向は、父兄にとつて支えがたいものとなっており、また、教育・研究諸条件の改善もまた困難に直面している。このよきなかで、私立大学は、われわれの期待に反する結果がもたらされ、その計画の最終年度にあたる昭和四十九年度の政府予算額は、四、四〇億であり、全私立大学の経費補助に、平均して一、五〇億に過ぎない。この一、五〇億は、われわれは、従来の助成方法を改め、国立大学と私立大学との教育・研究諸条件の格差を正す前提として昭和五十年の立法化について、目下、猛烈に運動を展開している。

本学は、これらの運動について、関係私学団体のあらゆる活動に参画することと、勿論、本学関係者の協力を得て、国会に對する請願のための署名運動を行なっている。また、十年前に組織された、本学が議長として、いまや加盟校が百十校におよぶ「全関西私立大学国庫補助促進同盟」の運動にも率先して参加し、国庫助成運動に大断の努力を傾けている。

われわれは、昭和五十年度の経費補助金について、前述の方針にもとづき、二、六三九億円の政府予算の増額を行なったが、これに対し、大蔵省の文部省課長要求額は、一、二〇五億に過ぎない。しかもこの額は、政府予算決定に際して、例年のごとく大幅に削減される恐れがある。このほか、異常な給与改訂に処するたため、昭和四十九年度の経費補助金政府予算に、三、七一一億円の追加増額を要求しているが、これの見直しはたっていない。このよきなかで、私立大学はいよいよ財政基盤を

名の署名を目標としている。なお、政府・国会に對する請願は、本学卒業生と父兄の衆・参画員を通じて提出する予定である。国庫補助に關する運動は、この署名だけで終わるものではなく、今後系統的に展開する方針である。



▼灯火親しむ書齋の秋。しかし、ある新聞社の最近の世論調査では、読書率が低下傾向にあり、学生は書籍よりも雑誌に目が向きつつあるという。情報の氾濫の中において、若者の情報処理が「読む」を「見る」に置き換わっている。この「読む」が「見る」に置き換わっていることは、指摘されて久しい。妻島文夫は、映画的情報処理が得意で上手ではあっても、言語的・論理的な処理能力は、次の点で知的成長に阻害を及ぼすと言っている。すなわち、映画的表現はすべてが一瞥で済ませるために距離感が失われ、現実感が薄くなる。時間的・空間的・論理的な距離感が失われ、現実感が薄くなる。時間的・空間的・論理的な距離感が失われ、現実感が薄くなる。時間的・空間的・論理的な距離感が失われ、現実感が薄くなる。

キャンパス情報



新学部長 菅部猛利教授の紹介

社会福祉学部の貴重存在

菅部教授は、社会福祉学部の学部長として、同部を率いる。菅部教授は、戦後、社会福祉学の分野で、著書『社会福祉学』などがあり、同部の発展に貢献した。菅部教授は、同部の学部長として、同部の発展に貢献する。菅部教授は、同部の学部長として、同部の発展に貢献する。



岩崎記念館の題額除幕

岩崎記念館の題額除幕式が、十一月二十一日、午後二時、同館で行われた。菅部学部長が、題額を掲げた。菅部学部長は、同館の完成を喜び、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、同館の完成を喜び、同部の発展に貢献する。



特別期間の受付

「山のぼり」半利用

特別期間の受付が、十一月二十一日、午後二時、同部で行われた。菅部学部長が、受付を担当した。菅部学部長は、特別期間の受付を担当し、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、特別期間の受付を担当し、同部の発展に貢献する。

公認会計士 二次試験合格者九名に躍進

公認会計士 二次試験合格者九名に躍進。同部からは、九名の学生が合格した。菅部学部長は、合格者を祝福し、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、合格者を祝福し、同部の発展に貢献する。

学園



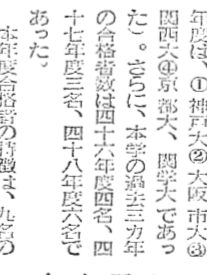
旧予科学生舎の弾痕

旧予科学生舎の弾痕。戦時中の弾痕が残っている。菅部学部長は、弾痕を管理し、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、弾痕を管理し、同部の発展に貢献する。



現代に生きる「現代」

現代に生きる「現代」。菅部学部長が、現代について語る。菅部学部長は、現代について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、現代について語り、同部の発展に貢献する。



第45回産業セミナー

第45回産業セミナー。同部では、産業界との交流を図る。菅部学部長は、産業界との交流を図り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、産業界との交流を図り、同部の発展に貢献する。

戦争の傷跡まごまご

戦争の傷跡まごまご。戦時中の傷跡が残っている。菅部学部長は、傷跡を管理し、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、傷跡を管理し、同部の発展に貢献する。

部活動と私の実践

部活動と私の実践。菅部学部長が、部活動について語る。菅部学部長は、部活動について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部活動について語り、同部の発展に貢献する。

部活動と私の実践

部活動と私の実践。菅部学部長が、部活動について語る。菅部学部長は、部活動について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部活動について語り、同部の発展に貢献する。

部活動と私の実践

部活動と私の実践。菅部学部長が、部活動について語る。菅部学部長は、部活動について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部活動について語り、同部の発展に貢献する。

部活動と私の実践

部活動と私の実践。菅部学部長が、部活動について語る。菅部学部長は、部活動について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部活動について語り、同部の発展に貢献する。

「部落解放論」第二回特別講座の開催

判決に関する学長見解

判決に関する学長見解。菅部学部長が、判決について語る。菅部学部長は、判決について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、判決について語り、同部の発展に貢献する。

私の歩みと解放教育

私の歩みと解放教育。菅部学部長が、自分の歩みについて語る。菅部学部長は、自分の歩みについて語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、自分の歩みについて語り、同部の発展に貢献する。

部落出身教師の歴史的任務

部落出身教師の歴史的任務。菅部学部長が、部落出身教師について語る。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。

部落出身教師の歴史的任務

部落出身教師の歴史的任務。菅部学部長が、部落出身教師について語る。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。

部落出身教師の歴史的任務

部落出身教師の歴史的任務。菅部学部長が、部落出身教師について語る。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。

「狭山事件」第二審 判決に関する学長見解

「狭山事件」第二審 判決に関する学長見解。菅部学部長が、判決について語る。菅部学部長は、判決について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、判決について語り、同部の発展に貢献する。

私の歩みと解放教育

私の歩みと解放教育。菅部学部長が、自分の歩みについて語る。菅部学部長は、自分の歩みについて語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、自分の歩みについて語り、同部の発展に貢献する。

部落出身教師の歴史的任務

部落出身教師の歴史的任務。菅部学部長が、部落出身教師について語る。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。

部落出身教師の歴史的任務

部落出身教師の歴史的任務。菅部学部長が、部落出身教師について語る。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。

部落出身教師の歴史的任務

部落出身教師の歴史的任務。菅部学部長が、部落出身教師について語る。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。菅部学部長は、部落出身教師について語り、同部の発展に貢献する。

